

地形・地質

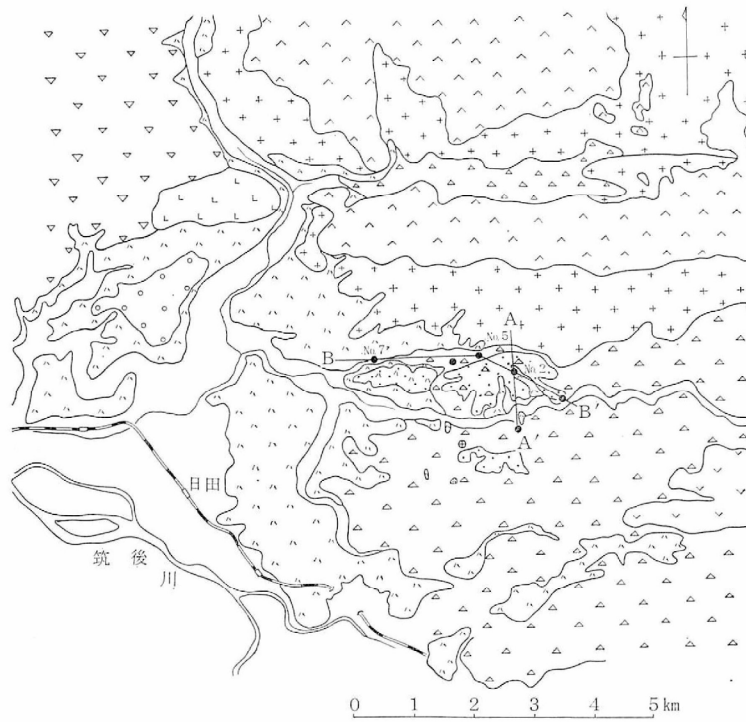
日田盆地は筑後川とこれに合流する有田川や小野川の両岸に展開する沖積平野からなります。周囲には阿蘇溶結凝灰岩からなる台地が分布し、さらに東および東南部に、更新世中期に堆積した耶馬溪溶結凝灰岩が分布します。

地下水

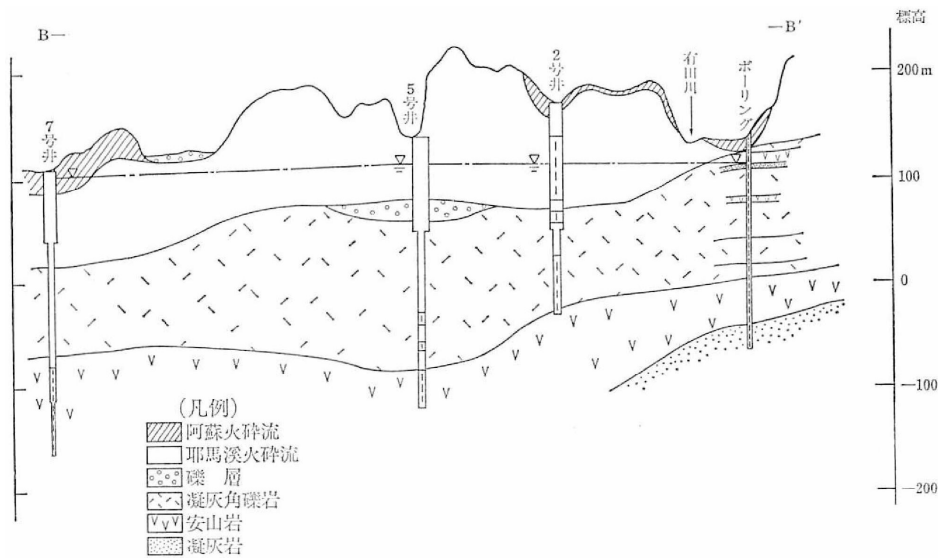
調査ボーリングによると、深度 145m 付近からの安山岩質凝灰角礫岩と、195m からの宮園溶岩中から被圧地下水の採取に成功しました。

須の原地区周辺の層序表

時代	地層名	岩相	層厚(m)	
完新世	表土	土壌・火山灰	1～3	
	河床堆積物	砂礫・泥	0～5	
更新世	後期	阿蘇4火砕流堆積物	上部：軽石流 中部：溶結凝灰岩 下部：軽石流	0～20
		旧期河床堆積物	砂礫・泥	0～15
	中期	耶馬溪溶結凝灰岩	溶結凝灰岩	0～100
		古期河床堆積物	固結粘土・礫	0～30
	前期	宮園溶岩	凝灰角礫岩	100～140
安山岩	40～90+			
		凝灰角礫岩	26+	



- 凡 例
- | | | |
|-----|--------------|--------------------------|
| 完新世 | □ 沖積層 | □ (L) 竜体山溶岩 (含兩輝石角閃石安山岩) |
| | ○ 段丘堆積物 | □ (+) 宮園溶岩 (角閃石安山岩) |
| | △ 阿蘇溶結凝灰岩 | □ (V) 田代山溶岩 (兩輝石安山岩) |
| 更新世 | △ 耶馬溪溶結凝灰岩 | ○ 須の原地区 (県営農用地開発事業) |
| | △ 含角閃石兩輝石安山岩 | ● さく井および地質断面図位置 |
| | △ 月出山丘溶岩 | |



日田盆地の地質図と地質断面図

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ, 1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)